



高槻ロータリークラブ
2021~2022
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
URL <http://www.takatsukirc.org/>
E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 (8/18 は 12:30~13:15)
例会場 高槻阪急 6 階 多目的ホール TEL 072-684-5379
創立 1954年6月15日

会長 羽根田茂子 幹事 河合一人 クラブ運営委員長 浦中郁文 会報担当副委員長 浜田哲也

No.6 2021年8月18日 発行

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

第3241回 本日(8/18)の例会

- ◎ ソング・・・四つのテスト
- ◎ 卓話 光本 智輝君
「 砕石業のPR活動 」

第3242回 次週(8/25)の例会

- ◎ ソング・・・手に手つないで
- ◎ 卓話 中西 美代子君
「 献血について 」

先々週(8/4)の例会から

◎ビジター

計 1 名

国際ロータリー第2660地区 2021-2022年度
IM第2組ガバナー補佐 茶橋 和夫様 摂津RC

◎出席報告

・第2回定例理事会の決議により、緊急事態宣言等の発令期間中は、例会への出席義務を免除としております。これは、感染拡大防止の観点から、不要不急の外出の自粛要請及び会員の健康安全の措置として補足するものです。従って、8/4(水)例会出席率は100%となります。

会員数	出席者数	出席率
49 名	36 名	100.00 %
前々回例会補正後出席率	85.71 %	
但し、Mup 0 名	欠席者 7 名	
出席規定適用免除有資格者	1 名	

◎7月度皆出席表彰

山室 匡史君 連続5年

◎会長の時間

茶橋ガバナー補佐今日はお越しいただきまして有難うございます。そしてガバナー補佐エレクトとしてお越しいただきました伊藤会員有難うございます。

新型コロナの感染者数が増え続ける中、大阪府に4回目の緊急事態宣言が発令されました。

こんな中、例会を開催するかどうか迷うところであります。今回は第一例会でもあり、感染対策を万全にしてハイブリットで開催させていただきます。

今日訪問いただきました茶橋ガバナー補佐は前年度2度訪問の申し出をいただきましたがコロナで実現できず今日やっとお越しいただきました。

この後、本多会員の卓話がありますが、この卓話も2度コロナで延期になり今日やっとお実現いたします。

本多会員にはロータリーについて熱い思い語っていただきます。1時間あっても語りきれないとのことでした。

原稿を先に頂きましたが私も同じ思いですので会長の時間をこれで終わらして本多会員の思いをお聞きいたします。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

シェカール・メータ RI会長

◎国際ロータリー第 2660 地区 2021-2022 年度
IM 第 2 組 ガバナー補佐 茶橋 和夫様



◎幹事報告

- ・8月ロータリーレート 1ドル：110円
- ・事務局夏季休暇は、8/12(木)・16(月)となります。通常休業と夏季休暇を合わせると、8/12(木)～8/16(月)が事務局休業日となりますのでご注意ください。宜しくお願い致します。

◎委員会報告

○国際奉仕委員会

飯田 哲久

- ・「米山奨学生学友会（関西）Vol. 37 2020-21 年度会報」と「米山感謝祭 DVD」が届いております。「米山奨学生学友会（関西）Vol. 37 2020-21 年度会報」は、後方テーブルに置いておりますので、皆様ご覧下さい。「米山感謝祭 DVD」をご覧になりたい方は、事務局にお声掛け下さい。

◎会員の動き

○阿佐部 乃介会員

- ・2020年7月22日より1年ご在籍でしたが、お勤めの会社のご都合により7月末日をもって退会されました。今後のご健勝を祈念申し上げます。

◎卓話

- 「ロータリー活動に伝え遺したいこと」本多 了
- ・P. 3・4に掲載しております。

◎ニコニコ箱報告

- ・誕生記念内祝 本多君、浜田哲君、松尾君（茶橋ガバナー補佐、当クラブの御訪問ありがとうございました。）

中西君

- ・入会記念内祝 井前君、藤松君
- ・創業記念内祝 入谷君、河合君
- ・ガバナー補佐茶橋様、ガバナー補佐エレクト伊藤様、お越し下さりましてありがとうございます。

羽根田君

- ・卓話を聴いて頂いて。本多君
- ・ガバナー補佐茶橋様、ようこそ高槻 RC へお越し下さりましてありがとうございます。片山君
- ・茶橋ガバナー補佐をお迎えして。河合君

本日の合計 ￥ 60,000-
7/1 よりの累計 ￥ 300,000-

◎R 財団への寄付

- 入谷 治夫君 ￥ 5,000- 片山美智子君 ￥ 5,000-
- 河合 一人君 ￥ 10,000- 松尾 浩君 ￥ 5,000-
- 藤松 功治君 ￥ 5,000-

本日の合計 ￥ 30,000-
7/1 よりの累計 ￥ 145,000-
〔 年次基金会員より ￥ 145,000- 〕
〔 ポリオプラス会員より ￥ 0- 〕
一人当たり平均 \$ 27.79

◎米山奨学会への寄付

- 中西美代子君 ￥ 5,000-

本日の合計 ￥ 5,000-
7/1 よりの累計 ￥ 167,500-
〔 会員より ￥ 50,000- 〕
〔 クラブより ￥ 117,500- 〕
一人当たり平均 ￥ 3,564

◎青少年育成基金への寄付

- 羽根田茂子君 ￥ 5,000- 井前 憲司君 ￥ 5,000-

本日の合計 ￥ 10,000-
7/1 よりの累計 ￥ 40,000-

◎8/4 卓上花

- ・本日はございません。

2021-2022 年度例会プログラム

月	日	内容	例会後の行事	備考
8月	18	卓話(光本君)	中長期クラブ戦略委員会(例会場) 青少年育成基金特別委員会(事務局)	
	25	卓話(中西君)	地区大会準備委員会 青少年育成基金特別委員会(例会前)	*クラブ組織委員会
9月	1	記念月御祝/私の履歴書(富川君)	定例理事会	基本的教育と識字率向上月間/ ロータリーの友月間
	8	私の履歴書(丹野君)		
	15	私の履歴書(三井君)		秋の RYLA セミナー(未定)
	22	定款による休会(祝日を含む週)		
	29	私の履歴書(拝郷君)		*社会奉仕委員会

本多 了

- 私は現在85歳。職業を離れて既に10年。ロータリークラブの在籍は丁度30年にもなります。歳を経るほどに常に頭をよぎりますのは「生死一如」のこの人生で全ての「いのち」は変化しつつ減する「諸行無常」とこれに伴う先人の方達からの「人生リレーでの真理のバトンパス」です。今日は多少硬い内容で申し訳ありませんが、私としては最後の卓話時間だと思いますので、30分をいただき、永年に亘り、多くの先輩の皆さんから得てきましたロータリー活動の心を私なりの理解ですが後の人達にお伝えしバトンタッチしていきたいと存じます。今後活動される皆さんに対して永年在籍者の当然の役割義務として伝え遺せればとの想いでお話ししたいと存じます。
- 本日皆さんにお配りしました書類は、人生観 死生観を培い合う目的で作成し、既に広く全国的に配布しているものです。日本の文化文明として、先人達が遺されてきました大切な日本人の煌めく心の数々を順不同で纏めた 真理に近い道標（箴言）の小冊子です。そのココロは、本日の源流の心でもありますので、ロータリアンの皆様にもお役立ちできればと約200言に縮小編集してお渡しし、今後の人生の糧として、ゆっくりと時間をかけて味わっていただきたいと思います。我が国の先人達が遺されました真理に近い言葉との出会いは、今を生きる私達の人生を豊かにしてくれるものです。自分自身を磨きつつ心からの慈愛と感謝をもってココロを布施奉仕するロータリー活動としても非常に大切です。
- これを念頭にして、永年私が理解し活動してきました「ロータリークラブとは」について話します。想えば、約30年前には明治製菓の工場長として地域の公的機関の皆さんとのお付き合いはしていましたが、ロータリークラブとは何かが解らず、地域の事業オーナーの方々の昼の親睦の集いの場、寄付奉仕の場だとして、関心が乏しく、毎週多忙な時間を割いてまでの必要性を感じることはできませんでした。多くの従業員も見ています。たまたま、商工会議所活動で工業部会長をしまして切っ掛けで、猛烈に誘われるままに、多忙を極める中で一応は入会しました。その後、徐々に表面的な交流活動は進みましたが、退職後は商品開発と人材育成のコンサルタント業として全国を広範囲に多忙な活動することで欠席も多く、クラブ活動自体の意義は掴めないまま在籍を疑問視していました。その数年後、偶々の地区大会に出席し、大阪地区ガバナーだった戸田様が永年尊敬されていた京都地区ガバナー経験者の平澤様(京大の元総長)の高い識見を軸に講話された内容に感銘を得たという素敵な出会いを得ました。
- 平澤様の道標は「人生で最も大切なことは、「慈」(他人への深い思いやり、母の慈愛)の心で自己を磨くこと。これを例会で身に着けあってほしい。」「ロータリーは利他と自利の調和(他者への慈愛は自分への慈愛)を目的とする一つの人生哲学」 更には「仏教の経文の最初にある「如是我聞」(我かくの如く聞いたことを後の人に伝えるのだ)の姿勢で、先人の真理に近い言葉を、その体温を身体で感じとり自分のものにし、更に勉強して太らせ、続く人達への人づくりとしての卓話を通して伝えてほしい」と。
- 平澤様を師と仰ぐ戸田様は、「例会は人間の持つべき優れた人間性を磨く修養道場である」そして、「各人の事業はその有益な事業の基盤の上にこの心をしっかりと定着させ自分を磨き、人財を育てること(自分づくりで人づくり)」「これを例会で学び合い自他の人づくりで事業を育てていき、収益を得て社会に寄与する」まさにロータリーの綱領の心そのものなのです。それには「自分の生き様を表現した卓話こそが大切」 「聞きたい、気づきたいとの思いがある会員が、今日の土産に持って帰りたいと思える卓話が命であり、これがロータリー活動の本筋であり、その場を通じて、人生は直接間接の出会いにより自分を形成するもの」「仕事や業界の客観的な話以上に、自分の仕事職業観やその人生観など自分を心の底から語る卓話の交流こそが例会として何よりも大切です」と。ロータリーの「金看板とされている職業奉仕」そのものでしょう。(次ページへ)

- ・**職業奉仕活動**とは 職場見学や優良従業員表彰等をすればよいというものではありません。例会卓話を通じて自己を磨き、ハッと気づいたことを職場に持って帰り、共に働く人達の育成に努め、更にその結果を例会に持ち寄り、卓話への意見や質問を交わし合い 互いの**利他自利**を培い合う事です。職業奉仕の役割は深く広いために、活動組織として職業の「内と外」に分けてあるのはそのためです。卓話の交流などを通して自職業内で自分や周辺を成長させて事業を育てる。そして協力社や自職業外としてクラブの仲間の事業の役立ちにも資する。これらの結果が広く国内外（社会、国際）奉仕に貢献する事になるのです。この哲学がなければ単なる仲良しクラブ、寄付クラブに過ぎない事になるでしょう。モノやカネでの寄付がパターン化され、心がこもらずお金や形が主になっている傾向に陥り易いです。伝統的な日本文化の心であります**無財の七施**（眼、和顔、心、身、言辞、床坐、房舎）施のようにカネやモノによらずに、布施、奉仕する側が深い慈愛ですという**慈の心**が理想でしょう。
- ・また、ロータリー活動は本来各クラブが主体的に自主的に行うものであり、地区は通常の上部組織ではなくサポーターなのです。従って活動の主題については、より一層見える化活動と組織維持のためにも高槻地域での奉仕活動をより一層重視する必要があると思います。夫々の地域での社会奉仕活動で最も大事なことの一つには、**地域の次世代、未来世代の心を育むこと**だと確信しています。
- ・次世代育成支援や幼児教育支援などありますが、当クラブの代表的な活動としての市立全幼稚園児への「いのちキラキラ食裁活動」は、過去12年間に亘り会員の皆様のご努力により、地区や全国に認知されている大変有益な社会奉仕活動です。通園時に母子で一鉢のプロッコリー等に日々愛情をこめて、土づくりから野菜を育てつつ、幼児期の「いのち」を育む非常に意義ある食育活動です。人生の大切なバトンとして今後も大切に育てていただきたい活動です（市が評価し当クラブと毎年予算化）。
- ・人生とは **お陰様の恩送りに生きるものです。ロータリー活動がその一助になればと願っています。**
忙しい時間を割いて出席してよかった、気づける卓話を聴けてよかった、大切なコトに気づいて土産にできる。ワクワクと出席し、ワクワクと笑顔で語り合いながら帰途につきたいものです。
ロータリーの楽しさの根本はこのことにあると思います。 望ましい卓話とは 各自の職業人生観卓話が主体でありこれが「いのち」です。時にはこれらに示唆を与えるのが外部卓話の本来の意義でしょう。
- ・ロータリーには出席義務ということがあります、義務ではなく出席したくなるのが理想です。ロータリー活動を直接よくしたいというよりも、自分自身が人生の大切な瞬間をかけているのだとの想いが大事でしょう。そのような人達の集いが**地域社会で広く認知されること**によって、その趣旨に賛同して積極的に自主的にも入会したいと願う人達が仲間に入ってこられることが理想です。それが増員への最も大切な要件でしょう。その上でお互いを一層知るための親睦活動は大切な事です。
- ・そのような人達による 品格があり ワクワク活き活きした 楽しく魅力ある ロータリークラブ活動でありたいものです。人生の道標の中にも**楽しさの六要素**があります。自主的で結果を自分で確認 真理真実に根差す 困難を克服 気の合った仲間と一緒に 一層の成長を認知 社会に役立つ人生だと実感。これらはロータリーの**四つのテスト**（真実、公平、好意友情、役立ち）の心をも包含しています。楽しく成長しあうことです。その根本に職業奉仕の例会卓話があるのです。単なる依頼寄付課題や慣例的なロータリーとしての諸行事や諸事業等は手段であり、中身が伴わねば空しいものでしょう。現状はコロナ禍での感染防止のため 正常な例会運営、特に例会=卓話の本質が疎かになっていますが、むしろこの機ゆえに 例えば 多くの方による書面卓話の交流等で乗り越えたいものです。
- ・ロータリーへの想いは、各自の人生観や夫々の事業体の種類や規模等により異なり何が絶対に正しいかは無いでしょうが、日本文化文明に根差すロータリーとはかくあるべしとの想いで、人生の足元を見詰め、**先人からの真理真実の各種の道標（箴言）**を辿れば 解は自ずから観えてくるものと確信しています。以上、私自身が過去どれだけのことができていたか、30年在籍者として恥じ入るばかりですが、皆さん方ご自身の人生を一層豊かにする活動にしていかれることを念じています。 （以上）